

## 2-(2)-④教育課程に関する情報

教養に関しては学則の別表及びシラバスをご参照ください。

## 2-(2)-⑤学修の成果及び卒業認定に関する情報

三育学院大学、三育学院短期大学、専門学校三育学院カレッジの修業年限及び必要履修単位数などは次の通りである。

2010年5月1日現在

	学部学科	修業 年限	卒業に 必要な 履修単 位数	科目区分ごとの 履修単位数			取得可能な学位及 び専攻名称
				教養教 育科目	専 門 基 礎科目	専 門 教 育科目	
三育学院 大学	看護学部看護学科	4年	132単 位	24単位	28単位	80単位	学士(看護学)
三育学院 短期大学	英語コミュニケー ション学科	2年	64単位 以上	20単位 以上		36単位 以上	短期大学士(英語)
	専攻科 地域看護学専攻	1年	33単位 以上	(必修) 29単位	(選択) 4単位		
	学科・専攻	修業 年限	卒業に 必要な 時間数	科目区分ごとの時間数			取得可能な学位及 び専攻名称
				必修	選択		
専 門 学 校 三 育 学 院 カ レ ッ ジ	神学科 神学専攻	3年	2,490 時間	2,340 時間	150 時間	—	専門士(キリスト教 教養専門課程)
	神学科 キリスト 教学専攻	2年	1,710 時間	960 時間	750 時間	—	専門士(キリスト教 教養専門課程)
	キリスト教教育学 科 1年コース	1年	990 時間	540 時間	450 時間	—	
	キリスト教教育学 科 2年コース	2年	1,890 時間	1,080 時間	810 時間	—	専門士(キリスト教 教養専門課程)

## 2-(2)-⑥学習環境に関する情報

### <大多喜キャンパス>

大多喜キャンパスは、三育学院大学、三育学院短期大学、専門学校三育学院カレッジの主たる教育事業を展開するキャンパスである。広大で美しいキャンパスを持ち、学園の教育活動に有効に利用されている。校舎などの主な施設は下記の通りである。

なお、本学では、専任教職員の多くが学内に隣接する教職員住宅に居住し、また学生は原則として学内の寮に入寮しながら学習する「教育共同体」という学習形態をとっている。このような教育システムは、きめ細やかな学習指導を可能としている。

2010年5月1日現在

施設名	利用学部学科	設備の概要	その他
本部棟	共用施設	事務所、学長室、会議室	
図書館	共用施設	図書館事務室、書庫、閲覧室	
1号館	大学・短大共用	学生総合オフィス、教室、研究室、情報処理教育センターなど	2Fは短期大学の校舎として使用
2号館	大学	看護学科実習棟	
3号館	大学	教室、研究室、図書館分室など	1Fの一部を図書館分室として使用。
4号館	大学	教室、研究室、セミナー室	
大河平記念ホール	専門学校	研究室、チャペル、セミナー室	専門学校棟として利用
グレンジャー記念講堂	共用施設	講堂、音楽教室、ピアノ室	
食堂棟	共用施設	食堂、保健室、学生ラウンジ、教室、ストアなど	
体育館	共用施設		
グラウンド	共用施設		
テニスコート	共用施設	公式テニス2面	
労作棟	共用施設	労作部門の事務所、倉庫	
カレッジホール	共用施設		
スミルナ寮	共用施設	女子寮	
ミルテ寮	共用施設		
教職員住宅	—	専任教職員の多くが学内に居住している。	
シオンハイツ	—	独身教職員寮	
サンハイツ	学生寮	学生寮（個室）	

### <東京校舎>

東京校舎（3階建て）は、三育学院大学看護学部の専用校舎であり、学部の主たる実習病院である東京衛生病院に隣接していることから、臨地実習の拠点として活用されている。また、東京校舎徒歩2分のところに、臨地実習の際の生活拠点であるサフランハイツ（学生寮）がある。

施設名	利用学部学科	設備の概要	その他
1F	大学	事務所、図書室、研究室	図書室は東京分館
2F	大学	講義室、実習施設など	
3F	大学	カンファレンスルーム、倉庫	

### <袖ヶ浦キャンパス>

2010年5月1日現在、未利用土地である。将来的には、農場や研修センターを設置する予定。